

コープみえにおけるユニセフ活動

生協のユニセフ活動

1979年の国際児童年に「バケツ1杯の水」を贈る運動として全国の生協がユニセフ募金に取り組み始めました。

コープみえでは、すべての子どもたちの命と権利を守るため、街頭募金や店舗、宅配事業での募金に取り組んでいます。



組合員がグループを立ち上げて行うユニセフ活動に対して補助を行い、三重県ユニセフ協会と連携して、ユニセフ活動を県内にひろめる取り組みをすすめています。

また、ウクライナにおける紛争を受けて、ユニセフの「ウクライナ緊急募金」に取り組み、年間で11,221,180円の募金が寄せられました(2023年3月時点)。

『子どもにやさしい空間(CFS)』

災害時の避難所等において、子どもたちが安全に安心して過ごすことができる“居場所”を確保することを目的に、各地域で学習会やイベント出展を行い、啓発に取り組んでいます。



コープみえSDGs行動宣言に基づいて、誰一人取り残さないをモットーに、コープみえはこれからもユニセフ活動をすすめていきます。